

# 昭和鯨城会便り

## 第12回 趣味の作品展 開催される



↑ 会員の作品を見つめる観覧者

← 抹茶と栗蒸羊羹でおもてなし

## 趣味の作品展に寄せて 昭和鯨城会会長 26期(文化A) 御器所 大野俊介

今年の作品展はいかがでしたでしょうか。

会場にお運びの皆様楽しんで頂ける様、いくつかの工夫をしました。

例えば、中央パネル展示を止め、会場全体を見渡せるようにしたこと、皆様にアンケートでご意見を伺い、次回への改善に結び付けること、有料でしたがお茶とお菓子を用意しゆっくりした場を設けたこと、又、皆様に人気投票して頂き上位四者に記念品をお渡した事など。目論んだことへの評価は満点ではないと思われませんが、アンケートや他区からの見学者の意見からは概ね成功であったと安堵しています。

勿論、出品作品は多岐に渡り、それぞれに力作が出されました。

最後に、雨模様にもかかわらず多くの方に来て頂き、心から感謝しております。これからも多くの会員が創作作品を出展して頂けたらいいと思います。鯨城便りにも作品は掲載できます。積極的に参加して下さい。



写真

第12回趣味の作品展



炎の祭典 I  
19期 余語司郎



ウーベイン橋夕景  
20期 大館貞壽



日の出  
24期 長橋正雪



満開の桜と名古屋城  
7期 片山咲枝



白壁の小路  
24期 横井純夫



スパイダーマン  
26期 長谷川信義



順風  
27期 中島光彦

陶芸



土鈴(丙羊)  
5期 廣江昭二



花器 I  
18期 桜井建郎



花器  
13期 山口 護



皿  
21期 古池 潜



壺  
22期 佐藤邦利



花器  
24期 亀井栄子



花器  
24期 吉田加代子



壺  
26期 石川 眞



ふくろう  
26期 小木曾早苗



飾り皿  
27期 佐藤友章

水彩画



花のいらない花入れ  
27期 松永文子



あじさい  
14期 谷口千鶴子



アンコール  
20期 奥村勇夫



新緑の光前寺  
24期 吉岡一磨



夏の始まり  
24期 後藤美恵子



ブリューージュの修道院  
25期 上澤かよ子

クレパス画



海の夕焼け  
25期 高木恵美子



AEONへの道  
20期 渡辺晴朗

水墨画



石林  
26期 西尾展造

日本画



アイヌ像  
18期 杉本仁



かたくり  
26期 小川栄一

第18回趣味の作品展において、アンケート人気の集まった5作品について、作者にコメントを頂きました。紙面にてご紹介させていただきます。

#### 5期(陶芸)伊勝 廣江昭二 「ガラスの光」

趣味の切り絵との出会いは、三十数年前に遡りますが、1975年9月7日朝日新聞日曜版を手に取り、カラー印刷の画面とその記事に注目しました。それが切り絵画面でした。作者は、切り絵作家の滝平二郎氏でした。子供の素朴であどけない遊び、いたずらなど日常の情景が描かれた日曜版を毎週切り抜いて、厚手の台紙に張り合わせ、その数250枚を超えました。

これを契機に切り絵に挑戦。始めはお粗末な絵でしたが、次第にどうにか様になってきました。昨年予想もしない病いに侵され、40日程入院し、以来リハビリに励んでいます。リハビリ施設では、この切り絵作業を取り入れていることにさもありなんと感じました。

#### 20期(生活B)川原 奥中さと子 「(京都)先斗町」

私が絵を習い始めて1週間目、京都国立美術館で友人と一緒に鑑賞した後、先斗町を散策しました。画家さんが絵筆を盛んに動かしている姿が気になり、そっと近づき見せていただきました。素晴らしい！私もいつかこの町を描いてみたい。一枚の写真を書し、いつも眺めて…六年目、やっと描いた作品です。

#### 24期(美術)川原 吉岡一磨 「新緑の光前寺」

出品しました水彩画(新緑の光前寺)は、信州に行きました時に立ち寄りました駒ヶ根高原にあります「光前寺」境内の一コマです。光前寺は信州屈指の大寺で、境内は樹齢数百年の杉の巨木が立ち並ぶ参道、その脇にあります石垣の奥には光苔が自生し、幻想的・神秘的な情景に魅了され、いつでもおもいだすことができるのではないかと思います。思い画きました作品です。

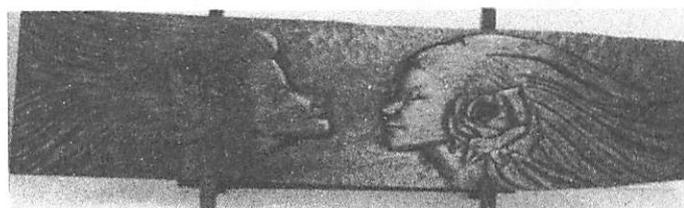
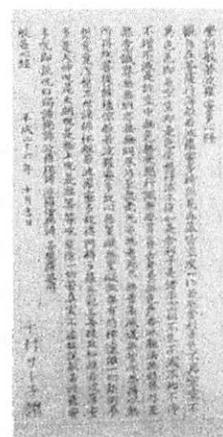
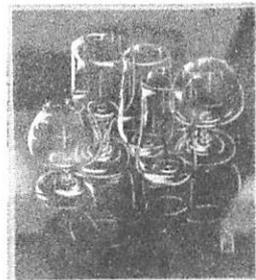
#### 27期(福祉)御器所 千村サト子 「般若心経」

中日暮らし友の会特別講演会にて「般若心経を学ぶ」に出席。曹洞宗愛知県第一総務所教化主事、牧研治様より解説を頂きました。般若心経は二百六十二文字で仏教のエッセンスがまとめられているとの事。夫を亡くして七年。意味も分からないお経を唱え続ける自分。住職は「唱える心が大切」と言うだけ。腑に落ちない私。宗派は違ってもお経を唱えた後の心地よさ、般若心経を書いてみよう。苦手な楷書文字、癖が出る行書体、静かな時間筆を運び至福のひと時。四行目「府増不滅」不の字点が違う。「まあいいか」「我慢出来ない」頭の中で葛藤。是故空三文字が踊る。何枚書いても同じ文字に辿り着くと手が震える。二泊三日の登山出発、三十六色の紅葉に染まる山々、雑念を自然界に置き一気に書き上げ、三枚並べ纏まりの良い一枚に落款を押す。

初めての写経、緊張、落胆、諦め、出来た喜びは山と同じであった。新しい事に挑戦嫌いでは無い。歳を忘れ一から出発点に立てるから。

#### 25(美術)滝川 河島敏子 「語らい」

槐の会の先生と出会い、手ほどきを受けるようになったのは30代でした。図案に沿って裁ち込み片切りして、浮き彫り、沈み彫りと一彫り一彫り集中して掘り進む充足感は、時間を忘れさせます。また、塗りの方法も様々、下地の色、上地の色を各々重ね塗りをし、まこも等の古び粉をまぶして研ぎ出す。生漆の刷り込み、刷毛塗り等々、楽しさも広がります。



## 行事報告

### 第12回鯨城会グラウンドゴルフ交歓会開催

昭和鯨城会から14名(男7名、女7名)が参加し、滝川学区の松野静子さん(25期)がホールインワンを3回達成し、並み居る男性軍を押しさえ見事優勝されました。おめでとうございます。

松野さんにお話を伺いました。

GG歴は、15年前滝川学区のスポーツ推進委員になったのがきっかけで始めた。練習は、月4回午前中1時間程。今回のホールインワン3回は、「たまたま、まぐれ」です。プレーしながら記録員も兼務についても、日頃からスコアをつけるようにしているので苦にならない。

皆さん、参考にされてはいかがでしょう。

## 同好会情報

### 台湾旅行のご案内

いよいよ海外旅行スタート。ご要望のあった遠方への旅(第二弾)として、一機に海外へ。安全で、近場で、お値打ちな台湾を選びました。特徴・概要は下記を見てください。

12月鯨城便りに具体的な「申込書」を添付しますが、4名以上集まれば申し込みをしたいと思いますので、お友達を誘い合わせ、ご参加ご検討ください。

【南北縦断 台湾6都市めぐり4日間】日本航空直行便指定！

食事 初日昼食、帰国時夕食以外すべてあり。

出発日: 3月1日(日)、帰国 同4日

費用 69,800円、空港使用料、燃料サーチャージなど約15,000円

- 特徴
- 午前便(9:45)出発・夜帰国(19:35)なので、4日間のコンパクトな日程でも滞在時間がたっぷり！
  - 現地ガイドは4日間同じ！台北到着時から台北出発まで同じガイドで安心の旅
  - 映画のモデルになったとも言われるノスタルジックな九フン散策(約60分)
  - ★★世界四大博物館のひとつ！【故宮博物院】はたっぷり3時間のお時間をご用意。
  - 台北～高雄間は、【台湾新幹線】に乗車
  - 「鼎泰豊」にて小籠包、「好記担仔麵」にて魯肉飯(台湾風煮込み豚肉ご飯)など豊かな台湾料理
  - 主要観光地:九フン、夜市、高雄、台南、蓮池潭、日月潭ほか

(昭和鯨城会—旅行同好会)

## 栗きんとん作りに参加して

27期(陶芸)村雲 松永文子



昭和鯨城会開催による色々な行事に参加することをとても楽しみにしています。

今回は栗きんとん、私の大好きな秋の味覚です。以前に自分で作ったことがありますが、バサバサしてなかなか上手くまとまらず、直ぐに形が崩れてしまいがっかりした覚えがあります。

先ず「栗を潰す」工程です。すり鉢を使って実を潰すことは知っていましたが、次の「火にかけて練り上げる」という工程を知りませんでした。この工程がなかったから、以前上手く栗きんとん作りで失敗したことに気が付きました。最後に、練り上げた栗餡の粗熱を取った後、絹布を使って栗の形に成型しました。手前味噌ですが、饅頭屋さんの栗きんとんと比べても遜色ない出来栄でした。

今回の「栗きんとん作り挑戦！」に参加して、本当に良かったと思いました。このレシピ通りに栗きんとんを作り、ご近所にも上げられます。

これからも、このような企画をぜひ続けていただきたいと思います。最後になりましたが、お世話してくださる方々に感謝申し上げます。

## ゆっくり歩こうウォーキング会のお知らせ

### 第4回 鳩吹山 (雨天中止)

日時 平成27年3月27日(金)午前8時30分

集合場所 地下鉄伏見駅からくり人形前

持ち物 交通費(名鉄)、お茶などの飲み物、昼食、歩きやすい服装、帽子、

鳩吹山は、かたくり群生地として有名です。花が咲く頃に設定しましたが、今回はどうでしょうか？

不明な点があれば、

052-832-8111久保まで

お問い合わせください。

25期(健康)滝川 久保晴美



洋画



先斗町

20期 奥中さと子



風景

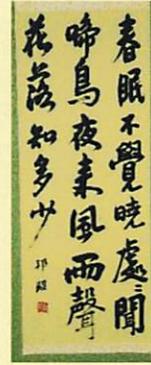
23期 武田進

書



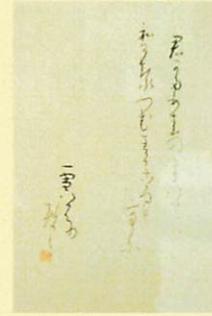
亀

17期 小川博三



春暁

25期 三浦邦昭



小倉百人一首15

16期 佐治正夫



誦月吟花

24期 前田恵美子



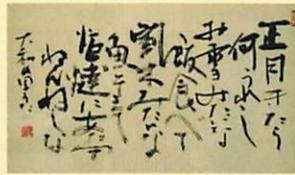
上和下睦

26期 稲垣幸男



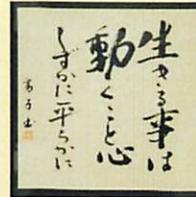
般若心経

27期 千村サト子



大和の里うた

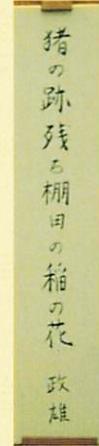
22期 高木弘二



生きることは動くこと

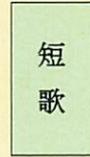
25期 斎藤富子

俳句



猪の跡

17期 石橋正雄



アルゼンチンワインナリ

26期 大野俊介

鉢花



鉢花

25期 下地清子

ガラス工芸



源氏物語

26期 浅野かをる

ペーパークラフト



シャドーボックス

27期 横田壽子

木彫り



語らい

25期 河島敏子

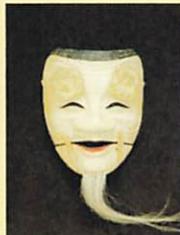
工芸



花台

23期 小川多喜子

能面



翁

24期 石川清美

桐塑人形



市松人形

25期 天野美保子

手芸



クロスステッチ刺繍

17期 中西温子

タペストリー



ハート三昧

13期 高瀬みちよ

※順不同

## 会員の広場

### 青春雑感

25期(園芸) 鶴舞 加藤和男

山川豊の「アメリカ橋」が聞こえる“いつかいつか 熱かった青春”。昭和30年代後半は楽しかった。給料がもらえるようになり、何でも出来るようになった。栄周辺が遊び場。先ず、食い気中心、洋食屋ブギでハンバーグを、コモではスパゲッティをよく食べた。飲めないのにトニオやクレバでカクテルを啜った。生演奏を聴きにジャズコーナーや洋酒天国へ出かけた。プラターズが好きで「煙が目にしみる」等をリクエストした覚えがある。喫茶店もよく通ったけれど、当時流行っていた歌声喫茶は好きでなかった。以前の電通ビルにあった喫茶店が隠れ家で、終生の連れとのデートの場所だった。名演や労音の会員にもなり榎山文枝の演技に感動した。当時の世の中は昭和40年の五輪に向けて活気があった。幸せな青春時代であった。70歳になり、仕事から解放されたが、やることもなくぼっとしていた。何も考える必要がなく先の見通しもない退屈な日々を送っていた。そんな時、鯉城学園に幸いにも合格し、また、何かが変わった気がする。同年輩との学園活動、特に体育祭、文化祭などを通じ、再び清新な気持ちも蘇って来た。まったく思ってもみなかった社交ダンスクラブに入ったことで、更に拍車をかけたようだ。学園終了後も週3回のレッスンに通っている。この歳だからうまくなれるはずがない。でも、1級、ブロンズ級へと新しいフィガーを覚えることで、まだ進化できるんだという喜びも感じる。レッスン後、熟年の男女が集団でランチの場所を探し求める。藤が丘のかもん、池下のかごの屋、今池の木曾路等。その後、喫茶店での長話。これも2度目の青春だろうか？

### ☆ 編集後記 ☆

大自然の怒りが続いた9月、日本中が湧いた三人同時ノーベル賞受賞の10月、そして、時間の過ぎ去る早さを「年賀状印刷承りますのポスター」で知る季節となりました。さて、「昭和こじょう会便り」78号をお届けします。今回の78号では、力作揃いの作品ばかりで大変好評を博した第12回「趣味の作品展」を大きく取り上げました。78号発行に際しましては、会員の皆様にご支援ご協力頂きましてありがとうございました。今後とも、ご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

編集委員一同

## 活動報告

◆あそびの広場(9月14日) 区役所講堂にて開催



◆グラウンドゴルフ交歓会で大活躍!(9月29日)

松野静子さんがみごと優勝されました。

◆鶴舞公園クリーンキャンペーン(10月4日)



◆上高地ハイキング(10月16日) 穂高をバックに



◆区民祭り(10月26日) 鶴舞公園にて



発行責任者 大野 俊介  
広報委員長 小川 栄一  
編集協力 長谷川信義  
齋藤 富子  
編集委員 稲垣 幸男  
中島 光彦  
千村サト子